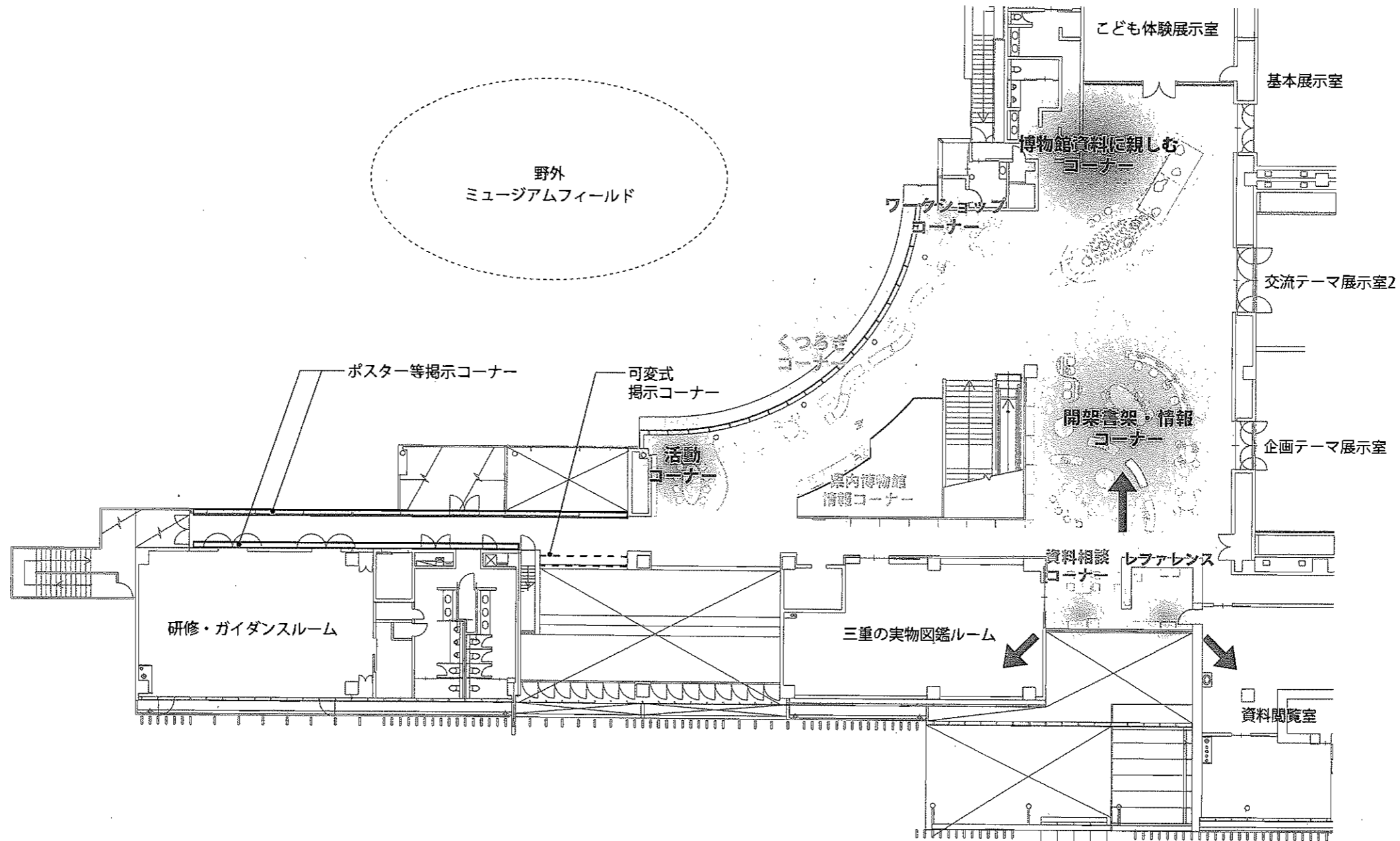
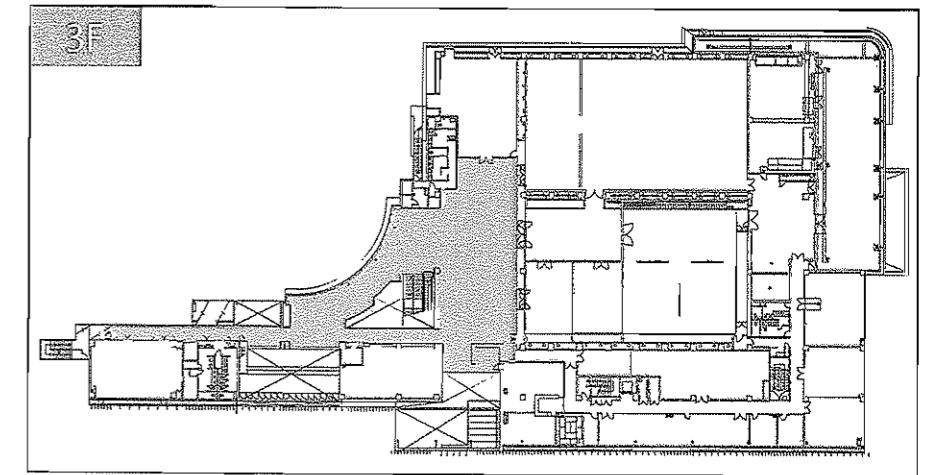
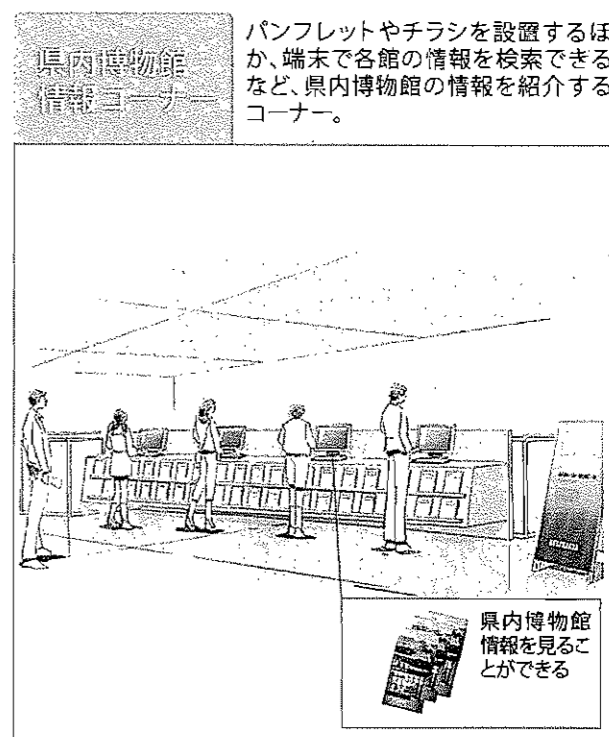
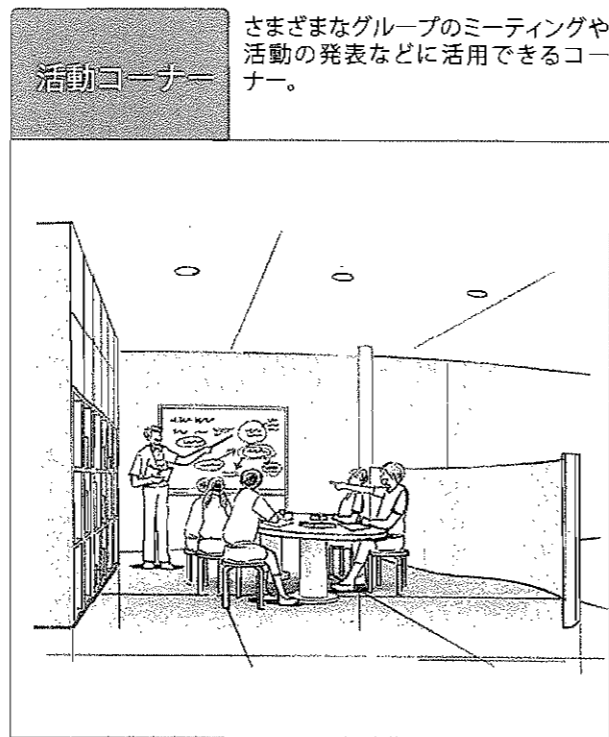
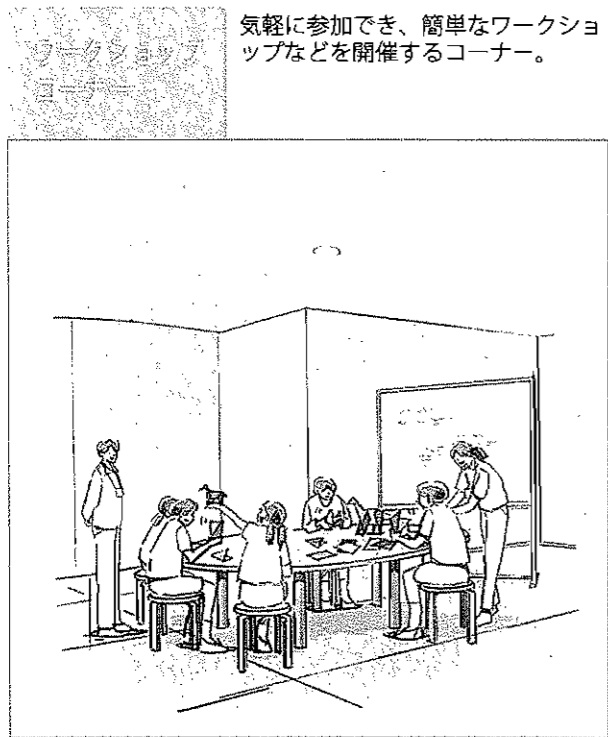
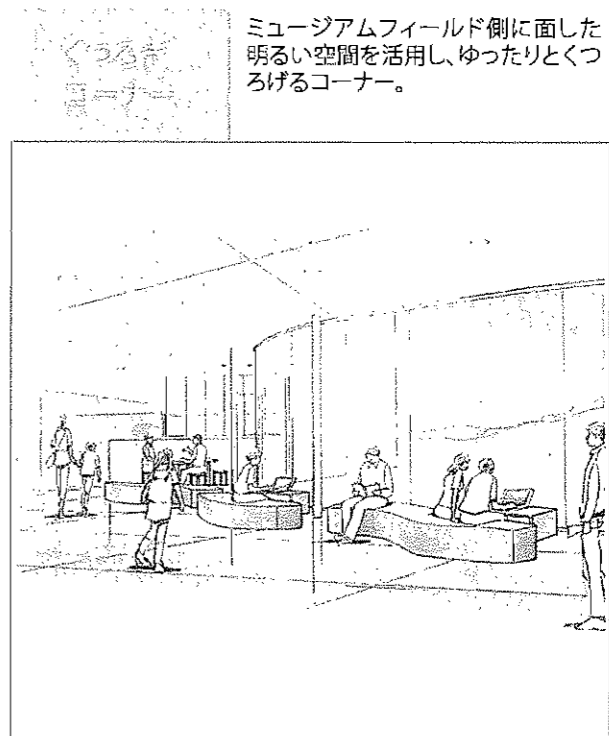
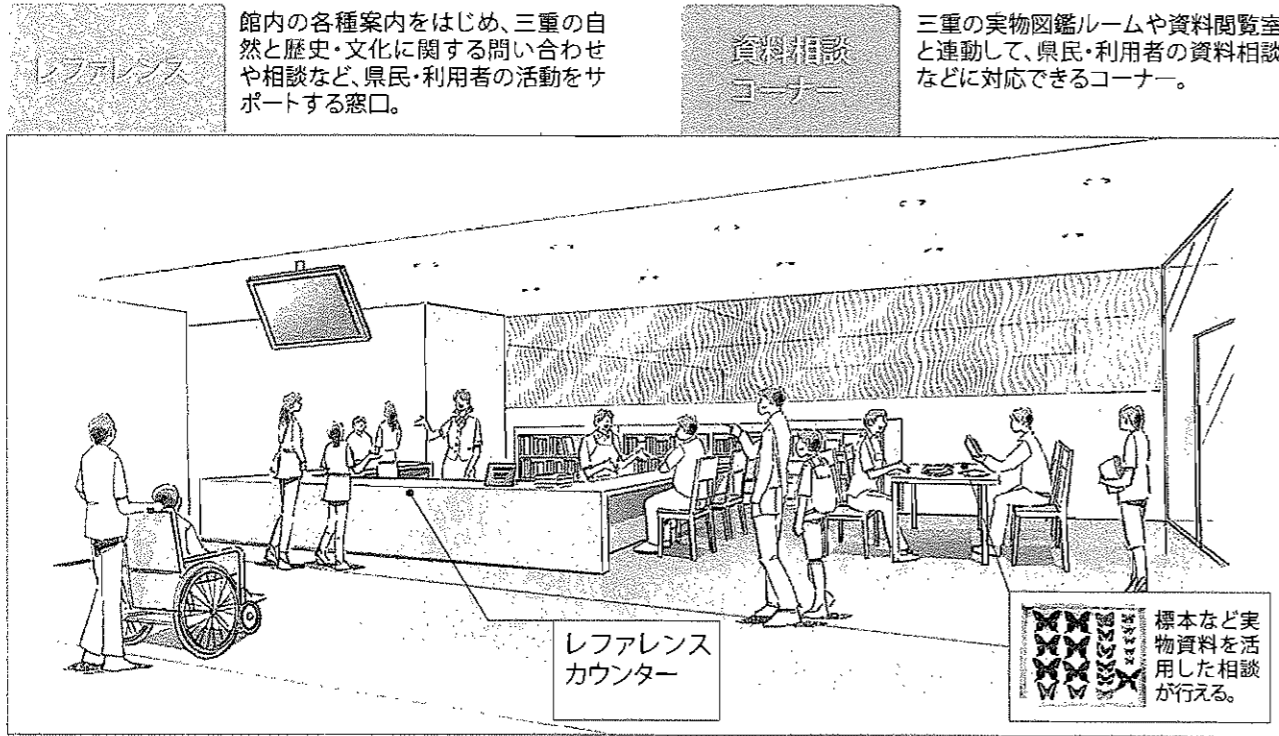


目的に応じたコーナーが有機的につながるゾーニング

ミュージアムフィールド側に開かれた明るい空間。
三重の自然と歴史・文化に関する問い合わせや相談、書籍の閲覧、個人やグループによる活動などがフレキシブルに展開できる。
ミエゾウの復元骨格標本をはじめ、博物館資料に親しめるような展示展開も行う。



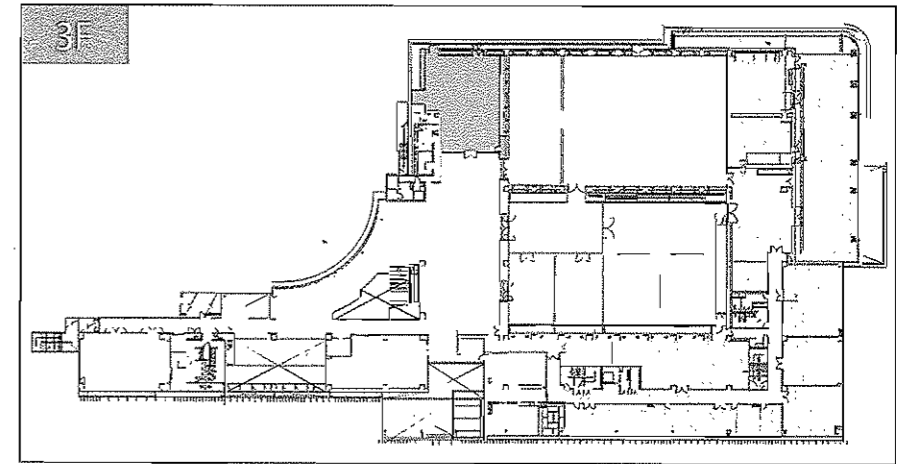
明るいオープンスペースで様々な活動を展開



展示3. こども体験展示室の考え方

こどもたちが博物館を好きになるきっかけとなる展示室

ミュージアムフィールドが望める展示室。天井高を生かし、開放的な空間とする。訪れたこどもたちが「遊ぶ・楽しむ」を通して、博物館の楽しさを知ることができる展示内容とする。



■展示の構成

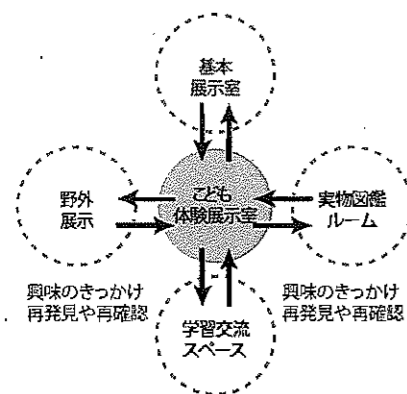
「モノをみる」ことから「モノの魅力」を感じてもらうきっかけや興味を抱く展示をめざす。

ゾーン	やってみる(体験)			しらべる(調査)				のこす(保存)	つたえる(展示)
内容例	遊ぶ・楽しむを通して博物館資料への興味や不思議を体験できるコーナー			興味や不思議を理解や探求心につなげるコーナー				体験を記録したり、保存の方法を体験するコーナー	体験の成果を展示したり発表できるコーナー
コーナー例	ふしぎ?のもり	だれの足跡? だれのうんち	くらべっこうおーる	「大きな虫めがね」と 「小さな虫めがね」	なりきりファッションショー	ナニコレ?ぼっくす	ワークテーブル	のこす、きろくする	こどもアートギャラリー
	天井高や学習交流スペースからの見えを考慮し、高さを生かした展示を検討する。 								

■展示の特徴

他の諸室との連動の検討

こども体験展示室での興味がきっかけとなり、基本展示室や野外展示などへ展開するような展示内容を検討する。



五感に訴える展示手法

感覚に訴えるような展示手法で「モノ」への興味を呼びおこす。



未就学児も安全に体験できるゾーニング

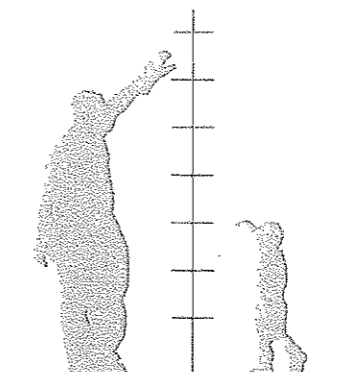
未就学児も安全に体験できるように、未就学児ゾーンと就学児ゾーンを設ける。

展示構成例
●草むらの音: 虫の音や風の音などが聞こえてくる演出。
●立体パズル: 大きなパズルで座ったり遊んだりできる。



こども目線から発想する空間設計

こどもたちならではのサイズや好奇心をくすぐるような展示を検討する。



スタッフの配置

スタッフを配置し、こどもたちの自発的な活動をサポートする。



展示4. こども体験展示室 ゾーニング案

やってみる (体験)

ふしぎ?のもり

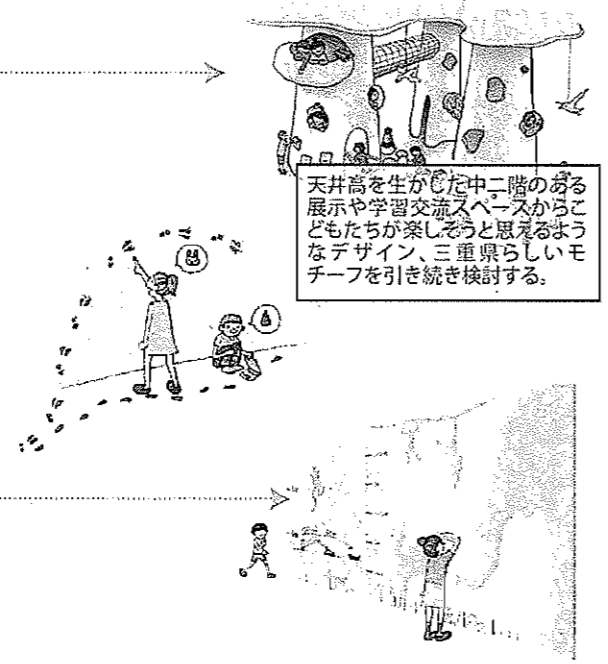
花・木・葉など様々な生き物の匂いの実を嗅いだり、中二階からミエゾウを見る事ができる。

だれの足跡?だれのうんち?

動物や昆虫など生き物のうんちや足跡などの痕跡を床や壁の一部も使って表現。何の生き物が問いかける。ところどころ床がめくれたり、石をどけると下に何が隠れている。

くらべっこうおーる

いろんな生き物たちと背くらべ、体力比べ、能力比べができる壁面展示。意外な能力に秀でた隠れたチャンピオン達について学べる。



天井高を生かした中二階のある展示や学習交流スペースから子どもたちが楽しそうと思えるようなデザイン、三重県らしいモチーフを引き続き検討する。

しらべる (調査)

大きな虫めがねと小さな虫めがね

大きな虫眼鏡(ピュワー)で昆虫や花など、何でも大きくしたり、顕微鏡で鉱物や花粉などを観察する。

なりきりファッションショー

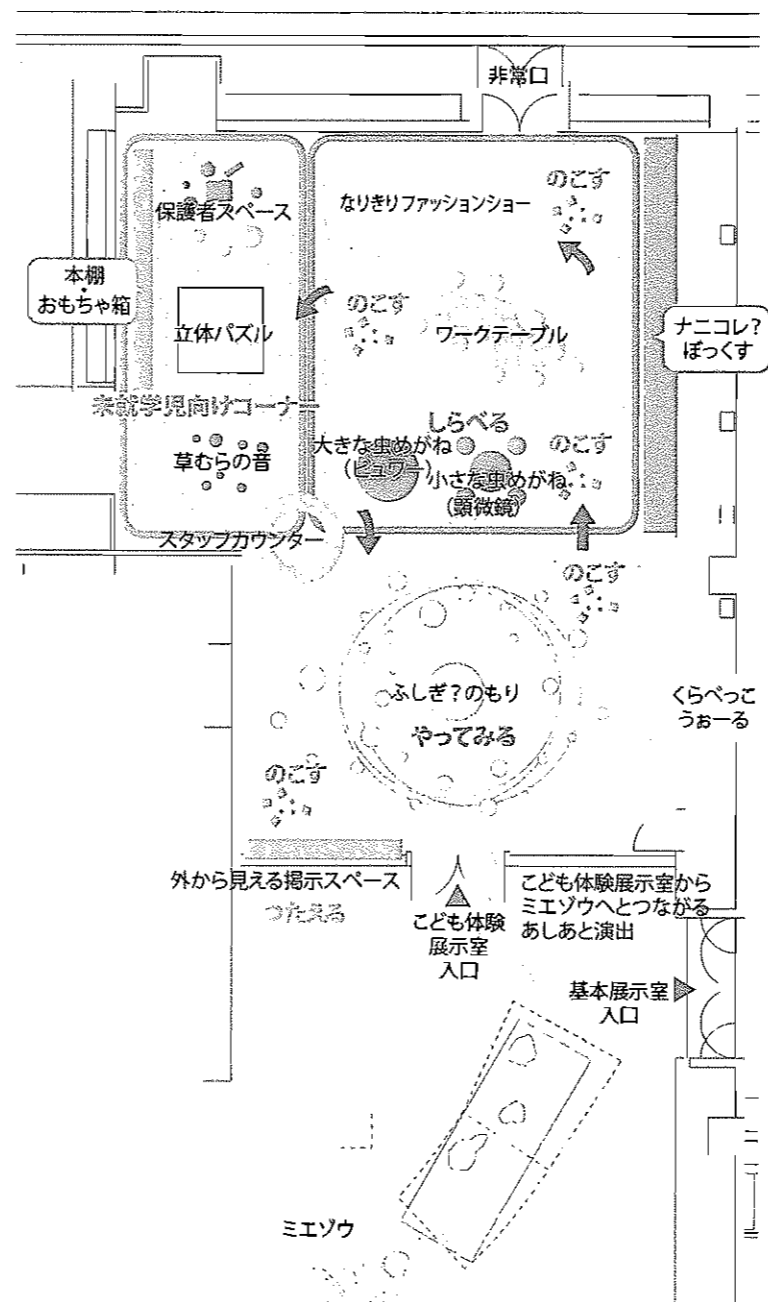
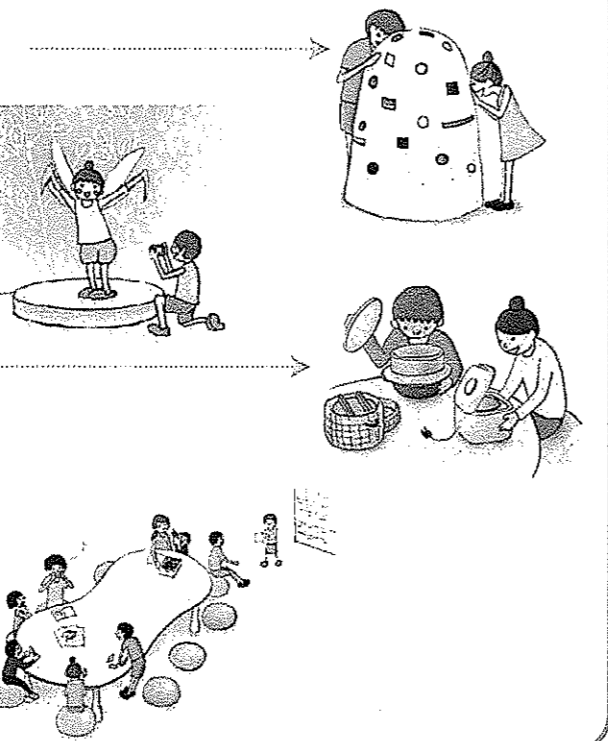
動物の歩き方をまねてみたり、生き物になりきって技を体験してみる。

ナニコレ?ぼっくす

動物や昆虫、植物などの自然史系、民具等の人文系、更に博物館の保存活動に関する展示内容が詰まったBOX。年齢や興味によって使い分けることができ、内容も随時更新可能。

ワークテーブル

ナニコレ?ぼっくすや簡単な体験ができるスペース展開。



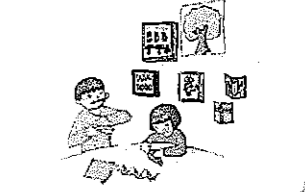
のこす (保存・記録)

のこす、きろくする
保存する方法や、記録する技を体験する。→それぞれのコーナーで展開。



つたえる (展示)

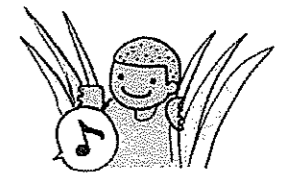
こどもアートギャラリー
こども体験展示室内でつくった作品などを展示。



未就学児向けコーナー

草むらの音

草むらからいろんな音が聞こえてくる。昆虫の鳴き声、動物の鳴き声、風の音、川の音、波の音、磯笛、祭りの音、など。



立体パズル

やわらかい素材でできた大きな立体パズルで遊べるスペース。ソファのように腰掛けることもでき、保護者と一緒に絵本を読んだり遊んだりして、自由に過ごせる。



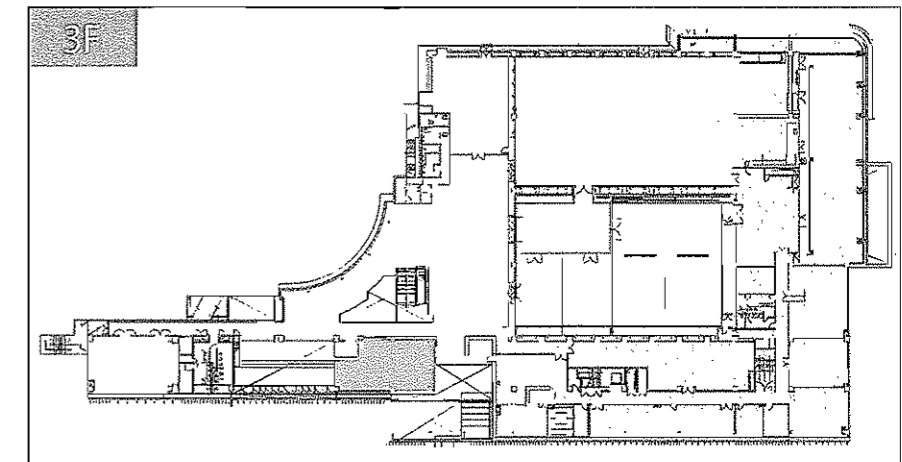
展示5. 三重の実物図鑑ルームの考え方

三重の自然と歴史・文化に関する基本的な資料を展示

学習交流スペースやレファレンスカウンターと連動させ、三重の自然と歴史・文化に関する身近な資料や特筆される資料を展示することで、県民・利用者が図鑑的に利用できたり、資料への親しみを深められる部屋とする。

■展示の構成

図鑑的な活用ができるように身近な資料を系統立てて展示する。

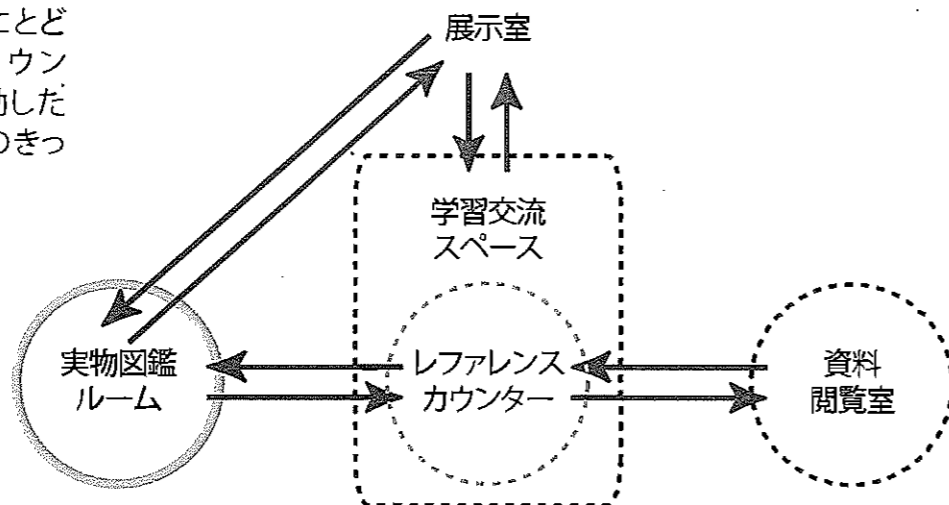


分類	岩石・鉱石・化石類	昆虫類	昆蟲・甲殻類 その他無脊椎動物	魚類・両生類 爬虫類	鳥類・哺乳類	植物・菌類	出土したモノ	受け継がれたモノ	継承されるワザ	愛用されたモノ	受け継いでいくモノ
例	花崗岩	ギフチョウ	セクトリアックガイ	カワムツ	キクガシラコウモリ	サカキ	須恵器 器台	東海道五十三次 庄野	伊勢型紙	ラジオ	地租改正反対一揆関係資料
	黄銅鉱	オオクワガタ	アカテガニ	カシミサンショウウオ	カワセミ	カバノリ	押出仏	北条義時書状	古萬古	手鏡	県内物産博覧会資料
	サメの歯 など	オニヤンマ など	クモヒトデ など	ヤマカガシ など	ニホンジカ など	ハラタケ など	古瀬戸壺 など	和時計 など	縞帳 など	蓄音機 など	伊勢宇治市街及近傍 など

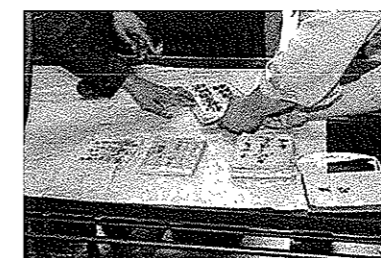
■展示室の特徴

他の諸室や資料相談、閲覧との連動

実物図鑑ルームの見学にとどまらず、レファレンスカウンターでの資料相談に連動した利用や、資料閲覧・活用のきっかけとなる部屋とする。



博物館資料の保存と継承



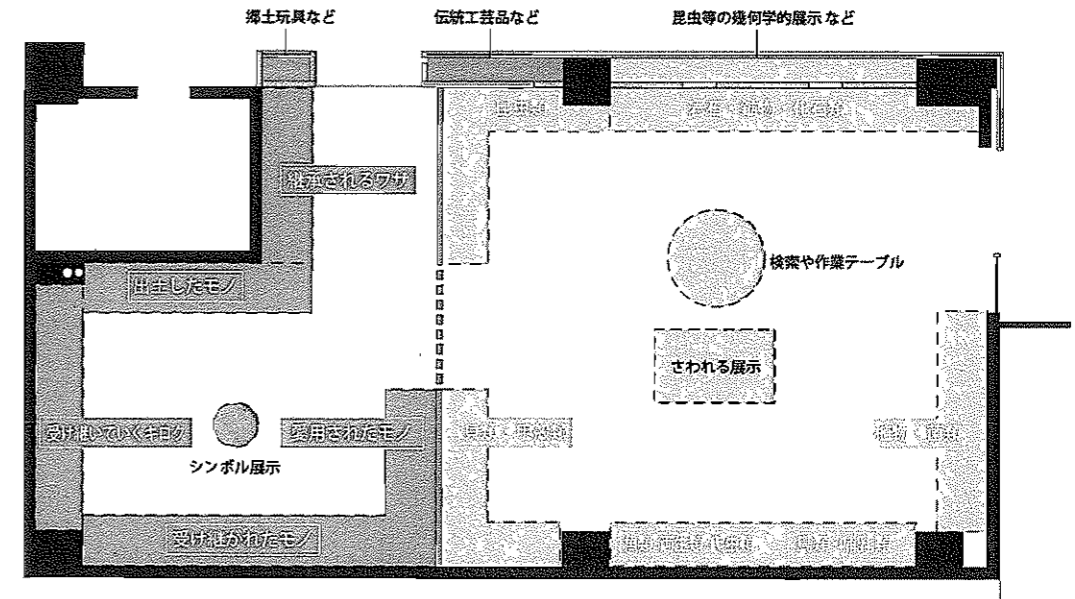
博物館の使命である「三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす博物館」の一役を担う部屋として、博物館にはどのような資料が收藏され、どのように保存されているかを紹介することで、県民・利用者との協力による地域の貴重な資料の保存、継承の重要性を発信する。

展示6. 三重の実物図鑑ルームのコーナーイメージ

身近な三重の自然と歴史・文化に関する基本的な資料を美しく、図鑑的に展示

三重の歴史と文化に関する資料は、受け継がれてきた経緯とともに、美しく展示する。資料保存の観点や季節・企画に応じた展示替えも検討する。

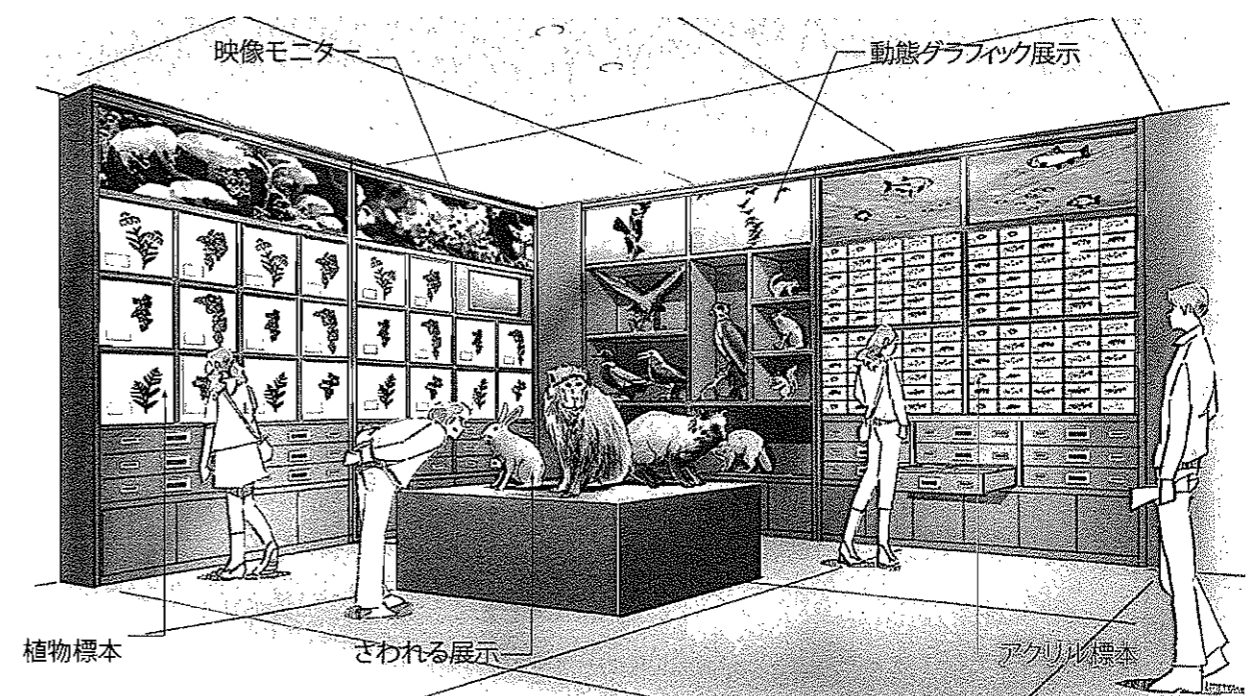
三重の自然に関する資料は、図鑑的分類による展示に加えて、映像やグラフィックなど、動植物の生態を伝える展示手法や、さわれる展示など、資料に興味を持ってもらえるような展示手法を検討する。



三重の歴史と文化に関する資料の展示イメージ



三重の自然に関する資料の展示イメージ



出土したモノ

出土した考古資料など



須恵器 器台 など

受け継がれたモノ

大切に保存されてきた美術工芸品など



和時計 など

継承されるワザ

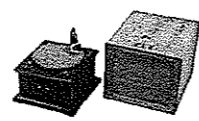
伝え残すべき伝統工芸やその技など



縞帳 など

愛用されたモノ

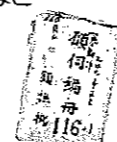
日常的に使われてきた道具、民具など



蓄音機 など

受け継いでいくキロク

保存されてきた記録資料や新たに保存する歴史的公文書など



地租改正反対一揆関係資料 など

植物・菌類



サカキ



ハラタケ など

さわれる展示



ニホンジカ



ニホンザル など



鍾乳石

鳥類・哺乳類



カワセミ



ニホンリス



ニホンイタチ など

魚類・両生類・爬虫類



ドジョウ



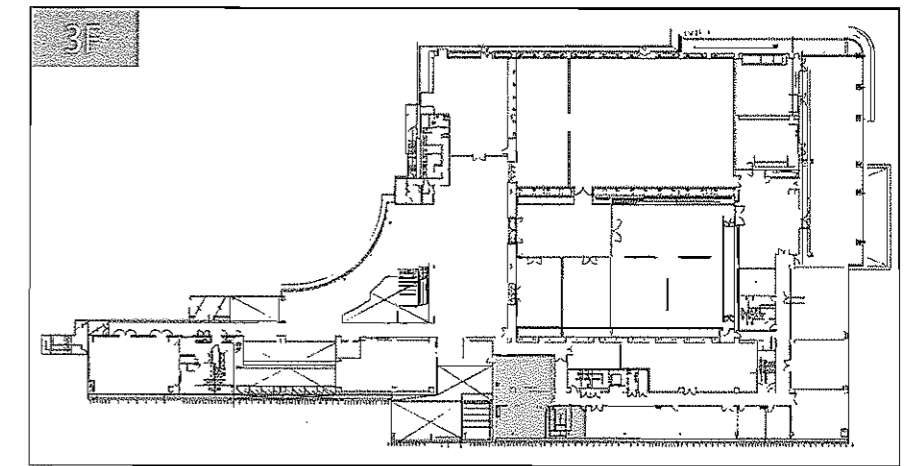
ニホンアマガエル



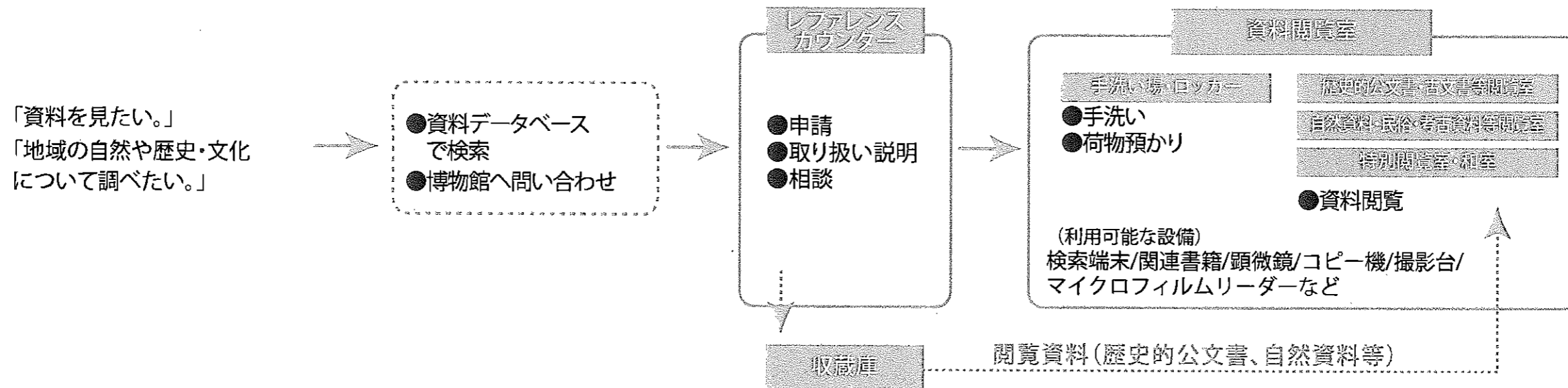
ヤマカガシ など

保存している自然・人文資料(歴史的公文書等を含む)などを閲覧できる博物館

博物館で所蔵する資料については、資料保存への配慮を前提として、所定の手続きにより、閲覧、研究活動やさまざまな情報収集に利用することができる。資料への影響を考慮し、資料の種別や性格によって閲覧室を区分する。

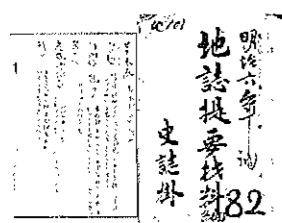


資料閲覧活用フロー

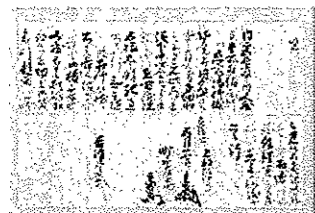


資料閲覧室の特徴

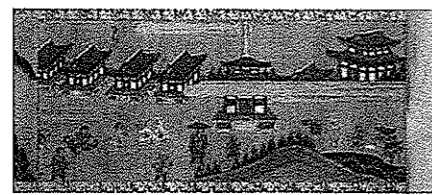
歴史的公文書・古文書等閲覧室



地誌提要材料編



伊藤又五郎家文書



熊野本地絵巻

三重県庁の歴史的公文書(選別公文書と明治期県庁文書・絵図など)、古文書や冊子・版本などの文献史料、版画や絵巻などの絵画資料など、主に紙媒体の資料を閲覧することができる。

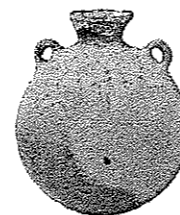
自然資料・民俗・考古資料等閲覧室



ノコギリシダ



タガメ



須恵器 提瓶

化石・鉱物などの地学標本資料、動・植物の標本資料などの自然系資料、民俗・考古・陶磁器などの人文系の器物資料を閲覧できる。

特別閲覧室・和室

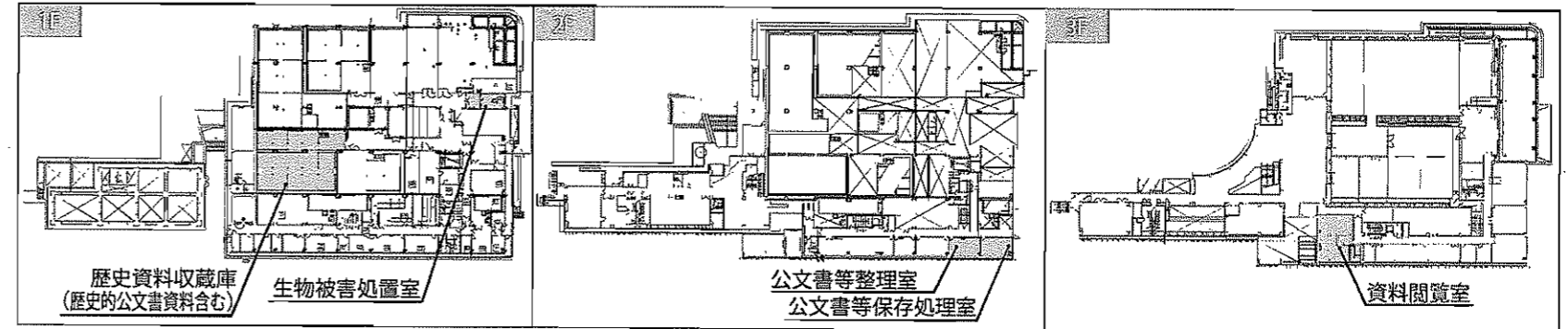


本居宣長像

軸物や屏風・大型絵図など、机上で扱うことが困難な資料、特別な配慮が必要な資料の閲覧、団体や行政機関等の特別な閲覧に使用する。

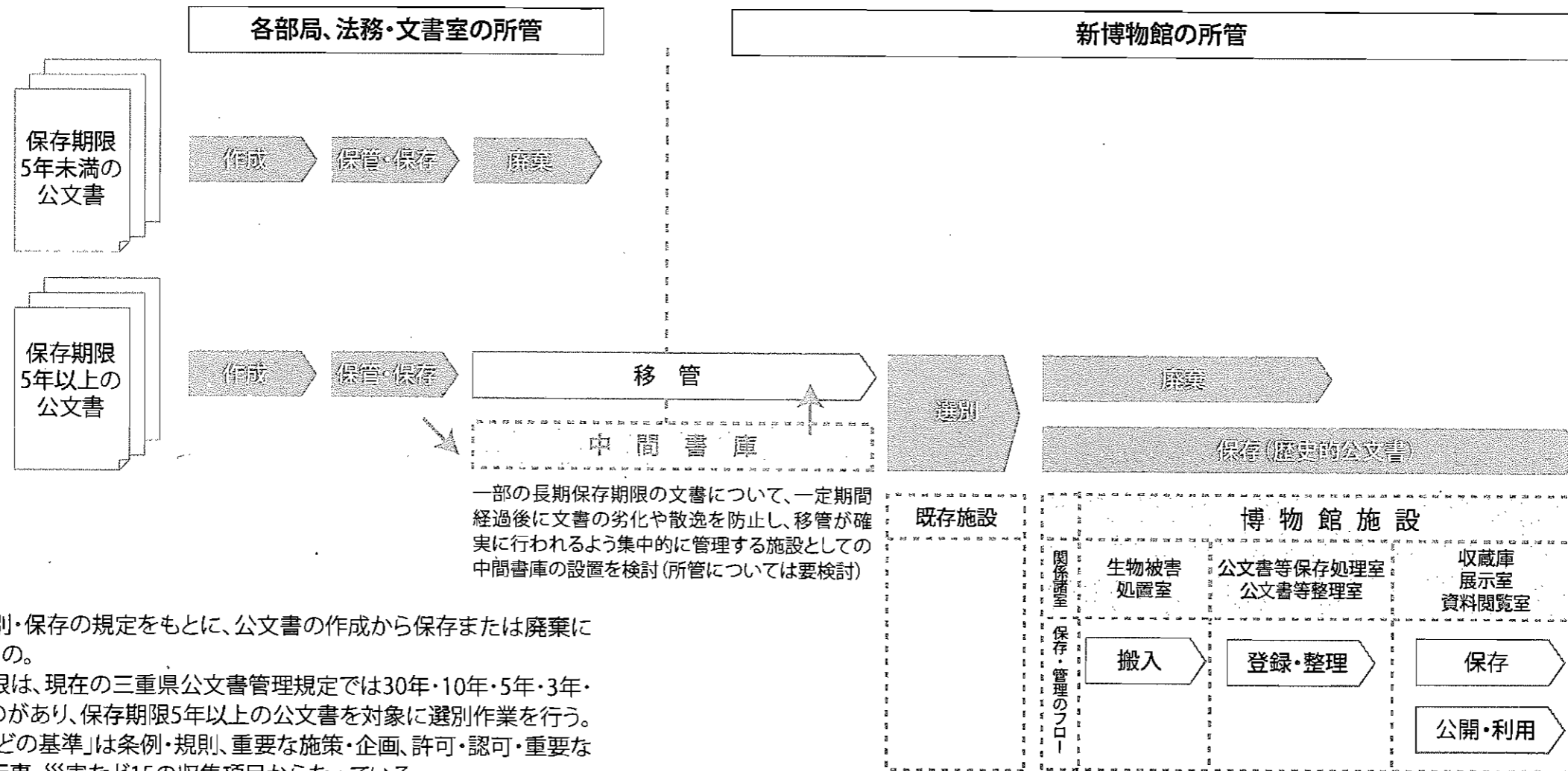
歴史資料として重要な公文書等を保存、閲覧、調査研究する 公文書館機能を一体化した博物館

歴史資料として重要な公文書等(「歴史的公文書」)を保存し、利用に供する公文書館法に基づく施設としての機能を持ち、併せて博物館の資料として活用することで、三重の文化振興に寄与し、より幅広い博物館活動を促進する。



<歴史的公文書の保存・公開のプロセス>

保存対象資料を選別するための作業は、既存の施設(博物館外)を活用することとし、選別を終えて保存することが決まった歴史的公文書を博物館に搬入、1階の生物被害処理室で殺虫処理のあと、2階の公文書等保存処理室、公文書等整理室で整理作業等を行う。1階の収蔵庫(歴史資料収蔵庫等)で保存し、保存された歴史的公文書等は、3階の資料閲覧室で利用に供する。ただし、歴史的公文書は情報公開条例の対象外であり、閲覧・公開にあたっては、規定などの整備が必要となる。



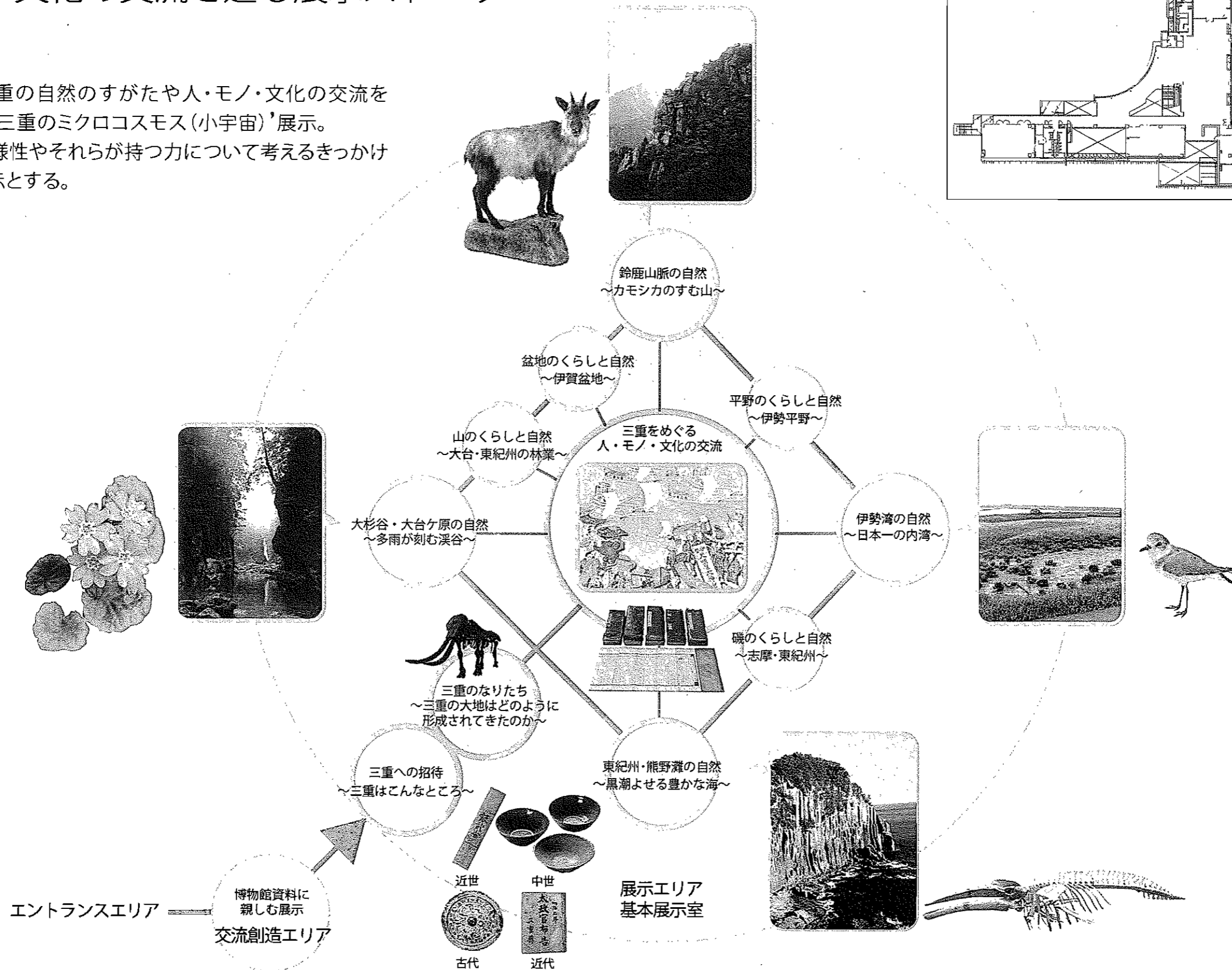
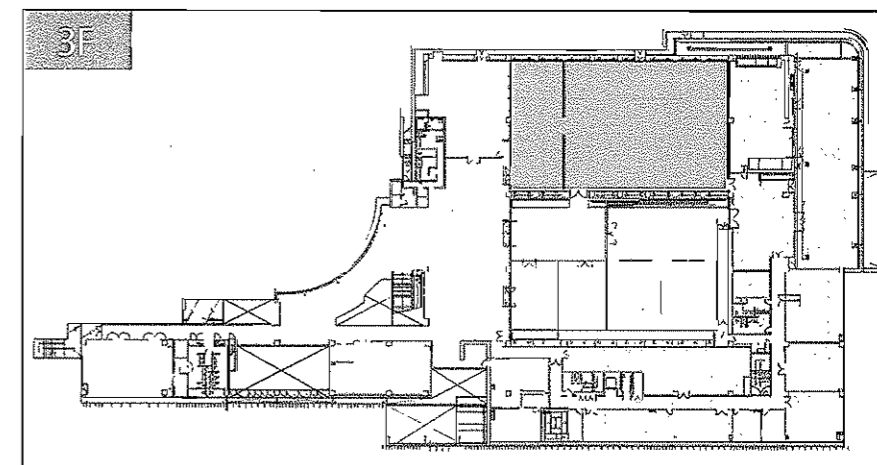
※本図は現行の公文書選別・保存の規定をもとに、公文書の作成から保存または廃棄にいたる工程を想定したもの。

※歴史的公文書の保存期限は、現在の三重県公文書管理規定では30年・10年・5年・3年・1年および1年未満のものがあり、保存期限5年以上の公文書を対象に選別作業を行う。

※「選別保存する公文書などの基準」は条例・規則、重要な施策・企画、許可・認可・重要な契約、行政区画、重要な行事・災害など15の収集項目からなっている。

多様で豊かな三重の自然と暮らし、 人・モノ・文化の交流を巡る展示ストーリー

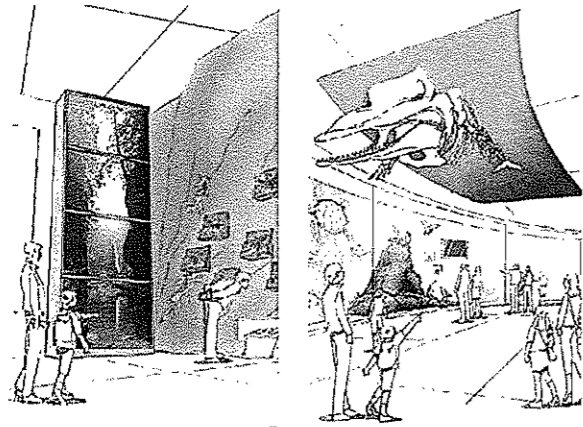
多様な三重の自然のすがたや人・モノ・文化の交流を紹介する‘三重のマイクロコスモス(小宇宙)’展示。
三重の多様性やそれらが持つ力について考えるきっかけとなる展示とする。



「感じる」「自分とつながる」「展示活動に参加できる」展示

感じる展示

多様で豊かな自然や多彩な交流を空間体験を通して、体感的に伝える展示。

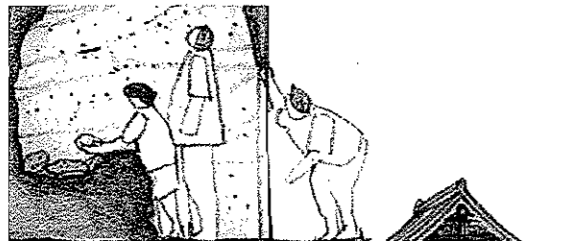


大杉谷・大台ヶ原の自然

東紀州・熊野灘の自然

知る・つながる展示

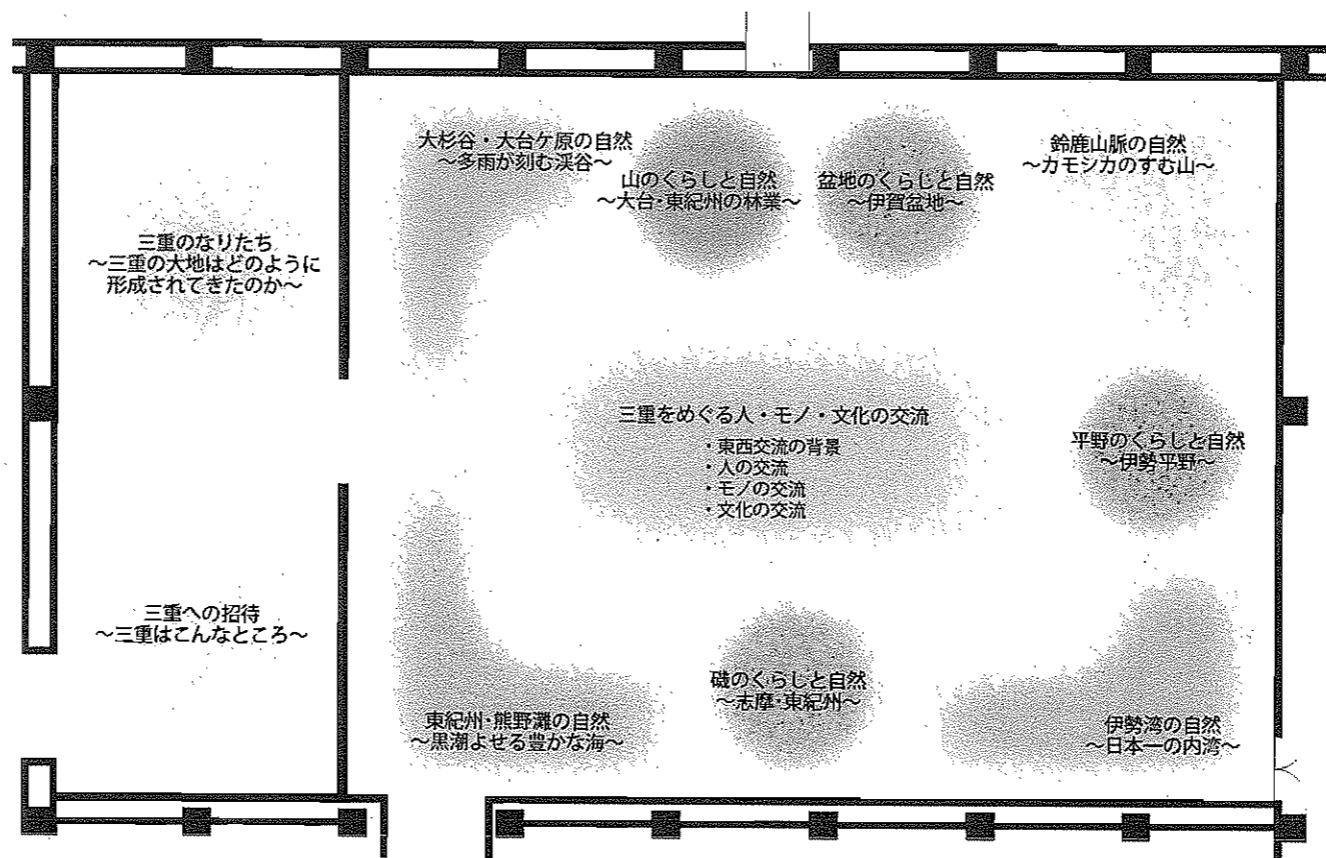
ハンズオンなどアクションを起こす身体感覚に訴える展示手法や、現在の私たちの身の回りとの比較を通して、より身近に感じてもらう展示。



鈴鹿山脈北部の石灰岩地帯と洞穴

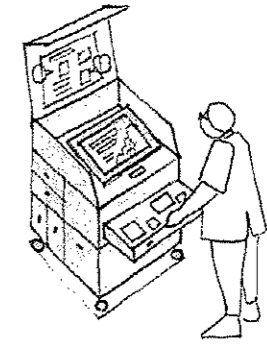


御師の館の復元

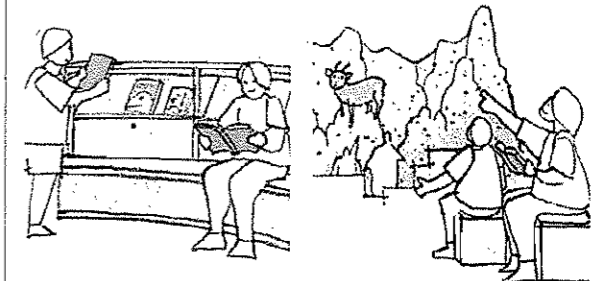


調べる・参加する展示

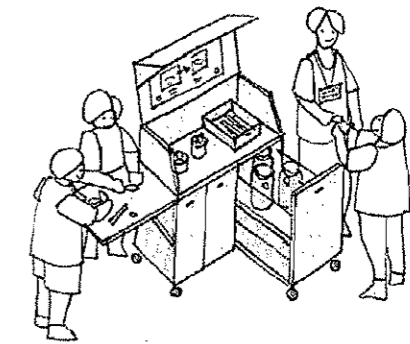
展示室内に三重の自然と歴史・文化に関する情報・書籍コーナーを配置。県民から集まった最新の地域情報を調べたり、書籍を閲覧できる。展示に関するワークショップを実施し、地域とつながる。



県民から集まった最新の地域情報が調べられるスペース



各コーナーのテーマをより深く知るための書籍と閲覧スペース

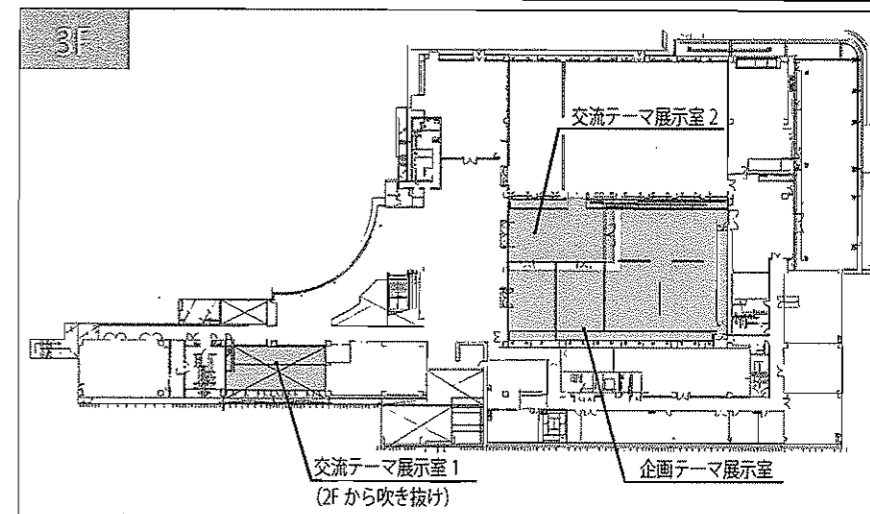


基本展示室内でのワークショップ

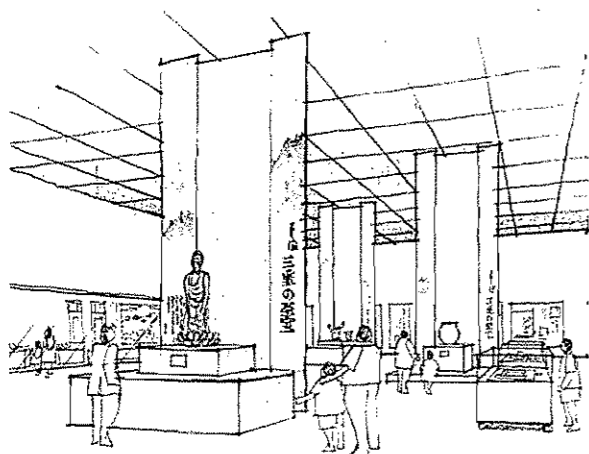
展示11. テーマ展示室の展開例

さまざまな展示を可能にするフレキシブルな空間で、多様な三重の魅力を多様に展開

大規模な全国巡回展や自主企画展、県民との協創交流展などの組み合わせで、多様な三重の魅力を幅広く紹介する。各々の展示内容や規模に応じて、大小さまざまな展示空間をつくりだす。仕様の異なる展示室を効果的に組み合わせ、多様な展開とする。



企画展示 (自主企画展・全国巡回展・共同企画展)



「美し国・三重の至宝」のイメージ

調査研究などの成果をベースに三重の自然と歴史・文化や、これにちなむ幅広い魅力を紹介する自主企画展や全国的な規模で行われる全国巡回展、共同企画展などを開催。

テーマ例

- 「美し国・三重の至宝」
三重の豊かな歴史・文化をあらわす国宝・重要文化財などの至宝を一堂に集めて紹介
- 「古文書が語る地域の歴史」
古文書等の歴史資料によって地域の歴史を紹介
- 「日本で見つかった恐竜たち - 大型恐竜のナゾをさぐる -」
全国の博物館との共催で、トバリユウをはじめ、国内で見つかった大型恐竜を紹介する巡回展を開催 など

交流展示 (県民協創交流展・他機関等との連携展)



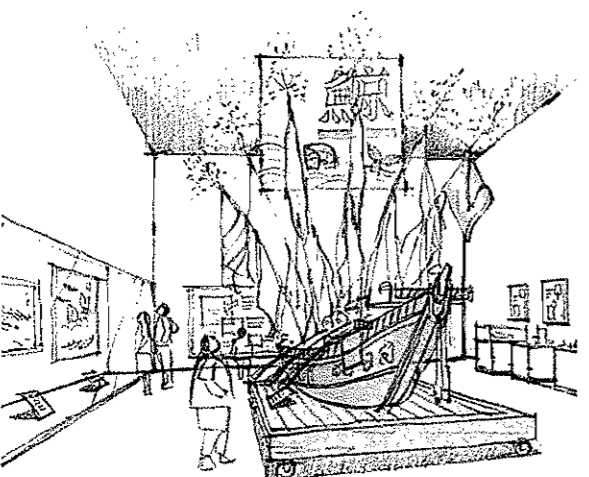
県民参加型調査展
「三重の里山を考える」のイメージ

県民や諸団体などとの協創による展示。県民協創交流展をはじめ、文化施設や大学、地場産業、企業などとの連携を図り実施。

テーマ例

- 県民参加型調査展「三重の里山を考える」
- 諸団体との協創による展示「自然文化祭」
- 「小さなチョウの大きな旅 - 日本を縦断するチョウたち -」
- 「地域に残る石仏たち - サポートスタッフとの協創調査から -」
- 「日本まんなか共和国共同展」 など

トピック展示



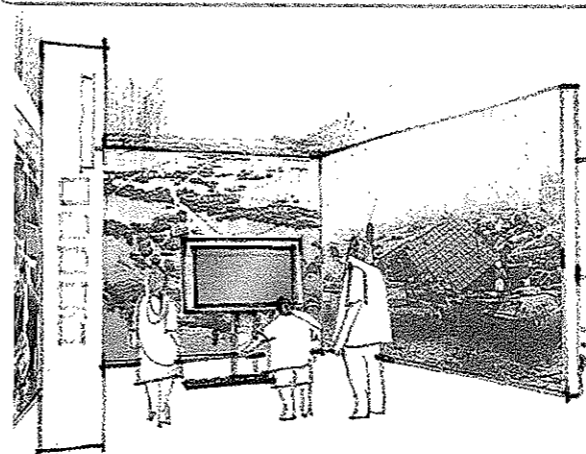
「クジラをめぐる人とまつり」のイメージ

基本展示と連動・補完する展示。随時展示替えを行うことで、常に新しい三重の魅力を発信、発見。

テーマ例

- 「クジラをめぐる人とまつり」
- 「物語のなかの生きものたち」
- 「ウシ・牛・丑年(干支シリーズ)」
- 「サクラとその名所」
- 「伊勢型紙のワザと意匠」 など

交流展示 (県諸施策との連携展)



「三重の防災 - 地震・台風を記録した歴史資料から学ぶ -」のイメージ

博物館の展示発信機能を生かした、県の諸施策などの発信。

テーマ例

- 「三重の防災 - 地震・台風を記録した歴史資料から学ぶ -」
- 「戦争の記憶 - 過去の経験から平和を考える」
- 「三重の子育て100年 - みんなで支える三重の子育て -」 など